

準天頂衛星やIoTを活用した未来の防災システム

—高専機構が地域と共に課題解決—

取りまとめ：高専機構/舞鶴高専

協力：京都府舞鶴市、宮城県名取市、伊藤忠テクノソリューションズ、芳和システムデザイン
衛星測位利用推進センター (SPAC)

事業概要

地域の安全・安心を確保するために、準天頂衛星や先端的なIoTを活用して、平常時・緊急時を通して利用できる防災システムを構築する。主要なステークホルダーと連携しながら、システムを維持・管理し、新たな発想で起業を目指す人材育成も合わせて行う。

事業目的

- 喫緊の課題である地域防災システムの構築を通じて、地域のステークホルダーと連携した課題解決
- 防災に関連する幅広い分野において、地域から新たに産業を起こす人材の育成

取組内容

1. 平常時機能として、老人見守りシステム、聞き書きマップなどのロバスト化や使い勝手などの改良
2. 緊急時機能として、準天頂衛星・スマホ・クラウドが一体となった気象情報・位置情報などの通信・データバックアップ等の開発
3. 高専研究ネットワーク「未来防災システム研究会」を通じて国内全域で連携しながら、性能検証・システムの改良・新たな利用方法・機能の追加などを実施

H30年度以降の実施アイテム

- 全国高専が持つ防災に関するシーズ（既存システムなど）と地域自治体のニーズのマッチング
- 準天頂衛星を利用した1000名規模の避難訓練による性能検討の計画・実施

防災システム概要

